

たかぶくの まちづくり

No.38

協議会
広報紙

高
原
の
人
口

世帯数 2,901戸
人 口 7,633人
男 女 3,771人
3,857人

R6.2.29 現在

目次

- p2 … 高原小学校でみそ作り教室
- p3 … 旧舟寄分校跡に歴史看板設置
- p4 … 令和6年区長会紹介ほか
- p5 … 高原尋常小学校の思い出
- p6 … 高原まめ知識、防災力UPミニ講座ほか



歴史文化部会

旧舟寄分校跡に 歴史看板を設置

令和六年二月、舟寄区防災公園に歴史看板が設置されました。裏面にはハザードマップも記載されています。
この場所にはかつて、高椋小学校舟寄分校が建っていました。

同分校は、明治八年（一八七四年）開校の知津小学校を源流とし、明治二十年（一八九七年）に現在地に移転した後、昭和五年（一九七九年）に惜しまれつつも閉校しました。

分校から本校には四年生から合流してきたので、友達がたくさん増えたのを覚えている方も多いのではないのでしょうか。（当時、板倉分校もありました。）
ところで、集落歴史看板は、まちづくり協議会・歴史文化部会により制作され、各地区の神社や集会場の敷地内に設置されています。（下の表をご参照ください。）

皆さんはいくつご覧になりましたか？
そして、探してみてもいいかでしょうか？

（山本幸弘）



高椋全域	一本田	西里丸岡	猪爪	吉政	高柳	長崎		舟寄	地区名			
高椋コミセン内	集落集会場	神明神社境内	集会場南側広場	八幡神社境内	集会場	称念寺本堂内	北側倉庫面	称念寺 東側駐車場 （旧高椋西部 コミセン）	設置場所			
地区内の歴史文化 パネル	千手観音御開帳関連 パネル	千手観音菩薩像他 看板	地区歴史 看板	猪爪弁財天他 看板	諏訪神社、赤江庄他 パネル	救世観世音菩薩像、 赤江庄他 パネル	光秀と称念寺 パネル	称念寺案内 看板	舟寄分校 看板	内容		
平成24年～	平成22年3月	平成30年3月	平成27年11月	平成29年3月	平成28年12月	平成28年3月	平成28年12月	令和2年1月	平成30年10月	平成26年6月	令和6年2月	設置年月
		⑦	⑥	⑤		④	③	②	①	番号	写真	

「たかむく玉手箱（別冊）」より



ふれあい部会

高椋小学校3年生とみそ作り

1月16日、高椋小学校の調理室において、3年生の児童と一緒にみそ作りをしました。



みその材料
（茹で大豆、米こうじ、塩、大豆の煮汁）



米こうじをほぐします



米こうじとゆで大豆を混ぜ合わせます



チョッパーという機械に入れて大豆をつぶしたり、
米こうじを細かくします



チョッパーから出てきた材料に
まんべんなく塩を加えます



バラバラの材料を一つにまとめます
水分が少ないようならここで豆の煮汁を入れます



材料をお団子状に丸めます



丸めた材料をたるに入れます
空気を抜くため、バーンと投げ入れます



これでみそ作りは完成、
秋ごろにはおいしいみそになります

令和6年高椋地区区長会紹介

一月十九日(金)、高椋コミュニティセンターにおいて、令和六年の高椋地区初区長会が開催され、今年区長会役員が決定しました。役員及び各区の区長さんをご紹介します。今年一年、どうぞよろしくお願いたします。

《役員》

会長	田本 憲恭	理事	東 泰正
副会長	中川 一広	監事	渡辺 啓行
副会長	乙部 敏郎	監事	柳原 正樹
理事	清水 義朗	監事	野田 幸一

《各区区長》

西瓜屋1の1	田本 憲恭	共栄	森下 大樹
西瓜屋1の2	清水 義朗	今福	丸岡 正芳
西瓜屋1の3	谷口 聡隆	今福2区	中田 宏之
西瓜屋2区	山本 清一	八ッ口	中垣内光男
西瓜屋3区	山出 英邦	高柳	渡辺 啓行
西里丸岡1区	國京 洋行	高柳2区	藤井 広美
西里丸岡2区	中川 清一	吉政	山本 保
西里丸岡3区	河野 祐司	寅国	中場 仁
二ノ一本田	平澤 竜一	竜北	野田 幸一
一本田新1区	山本百合子	泉	乙部 敏郎
一本田新2区	早瀬富美江	猪爪	村本 善孝
一本田新3区	山田 勘司	猪爪新1区	中澤 宏介
一本田新4区	釣部慎一郎	猪爪新2区	伊藤 敏行
一本田中	東 泰正	猪爪新3区	堂前 悦夫
一本田	中川 一広		
笹和田	東平 敬弘		
舟寄1区	橋本 高治		
舟寄2区	柳原 幸久		
舟寄3区	柳原 正樹		
舟寄4区	林 義徳		
舟寄5区	小寺 勝		
舟寄新	坂本 義治		
長崎	竹下 勇一		
長崎新	長谷 文彦		



長崎	新	長谷	文彦
舟寄	新	坂本	義治
舟寄	4区	林	義徳
舟寄	3区	柳原	正樹
舟寄	2区	柳原	幸久
舟寄	1区	橋本	高治
笹和田		東平	敬弘
一本田		中川	一広
一本田	新4区	釣部	慎一郎
一本田	新3区	山田	勘司
一本田	新2区	早瀬	富美江
一本田	新1区	山本	百合子
二ノ一本田		平澤	竜一
西里丸岡	3区	河野	祐司
西里丸岡	2区	中川	清一
西里丸岡	1区	國京	洋行
西瓜屋	3区	山出	英邦
西瓜屋	2区	山本	清一
西瓜屋	1の3	谷口	聡隆
西瓜屋	1の2	清水	義朗
西瓜屋	1の1	田本	憲恭



あんしん部会

高椋小6年生に自転車ワイヤーロックを贈呈
三月四日(月)、高椋小学校において、今年卒業する六年生の児童全員に卒業記念として自転車ワイヤーロックを贈呈しました。中学生になってからも元気で頑張ってもらいたいと願っています。



わたしの押し花

マリーゴールド

黄色やオレンジ色など、元気が出る色の花をたくさん咲かせてくれます。そして、花の時期は春から晩秋までと長いです。花びらはエディブルフラワー(食べられる花)です。中心部は苦いので、花びらの先を1枚ずつ取り外してサラダなどに飾ってもよいです。

また、花の香りが害虫を遠ざけたり、根に寄生する土壌害虫を駆除したりする働きもあるそうです。それで、家庭菜園やガーデンニングではコンパニオンプランツ(ピーマンとマリーゴールド等)として植えられることもあります。

種は大きいので、発芽の条件が揃えば、種蒔きで増やすことができます。お勧めです。



高椋尋常小学校の思い出

西里丸岡 吉田昭宣氏寄稿

生前二人の叔父に故郷の昔の思い出の記録を依頼。前回に引き続き高椋小学校創立一五〇周年を記念してその一部を抜粋したものです。

西里丸岡 吉田晋

私は昭和十一年から昭和十九年の八年間、高椋尋常小学校にお世話になりました。(昭和一六年には学制改革により高椋国民学校と改称された)子供の頃は理、哲、巧と兄弟は四人かと思っていた。九人もいたとは思わなかった。

小学校は高椋尋常高等小学校で尋常科六年、高等科二年あった。板倉と舟寄に分校があり、四年生になると本校にきた。三クラスで約一五〇人いた。六年生の時には男組、女組に編成された。中学校、女学校への受験者はクラスに四〜五人しかいなかった。

今のようにズック靴はなく、みんなハダシだった。休憩時間は外の運動場で遊び、足洗い場で(水をためてある)足を洗って校舎内に入った。ボール投げ、相撲取り、縄跳び、鉄棒などで遊んだ。あの頃はまだ全校生徒の中に二〜三人着物の者もいた。

いつもながら我が家の木戸に集まり集団登校、帰りは友達と道草をして楽しみながら帰った。谷町を通ったり、藤山病院の前から丸岡駅前を通って帰ったりした。

子供の頃は、毎冬寒くツララが三〇〜五〇センチ下がった。非常に寒くて何もかも凍ると、田んぼが遊び場になり、カ



震災前の高椋小学校

チカチになった田んぼを歩き回り雪合戦、スキーなどして遊んだ。

また滑り台や雪だるまづくりでも遊んだ。昔は今のようには除雪はなく、谷町は両側の屋根から降ろした雪で、道はラクダの背中を歩くようだった。

遊び道具はないしラジオもない。子供の遊び場はSさんの家だった。

当時Sさん夫婦と子供五人暮らしで、日中両親が留守の時子供のたまり場だった。カクレンボしたりして家の中で遊びまわった。家の中をバタバタにして、Sさんによく叱られた。

天気の良い日は魚釣り、カクレンボ、凧あげ。石けりや瓦倒しをして遊んだ。時々Uさんも仲間に入ってきた。母親に「Y勉強せなアカン」と叱られていた。

震災前の高椋尋常高等小学校平面図



おやつと言えば、カキモチとアラレ位、畑のキウリやキンカン瓜をとって食べた。他にピワやアンス栗、甘柿などがあつた。

高学年になると、下校後何か家の手伝いをさせられて家の掃除、農繁期になると田植えや稲刈りの手伝いなど色々言いつけられた。

当時小学校六年生頃までは、戦争も日本軍が優位だった。しかし小学校高等科になった昭和一八年頃から戦況が悪化し、学校では授業はソコソコに軍事教練

が強化された、高学年は背のうを背負い、竹鉄砲を担ぎ進軍ラッパに合わせて行軍を行った。

昭和一九年高椋国民学校高等科2年を卒業。商業高等学校を経て、陸軍無線学校在学中に終戦。

戦後は税理士として昭和・平成の時代を送ることができました。

戦前の高椋尋常小学校は懐かしい学習舎です。今も懐かしい故郷の思い出です。

※写真と図「たかむく玉手箱」より

一本田集落の西方約百メートルに旧一本田観音院跡がある。明治当初まで、この場所に観音院が建っていた。

現在は神明社境内の観音堂に移されている。この観音堂には千手観世音菩薩像が祀られている。

一本田山田家の古文書では寛正二年(一四六一)頃、永平寺の僧(石門和尙)が集落の西に小庵を建てて千手観音信仰を始めた。丸岡町史では、元禄八年(一六九五)に観音院を建立し、寛政四年(一七九二)には千手観世音菩薩像(三十三年毎に御開帳する秘仏)とともに西国三十三箇所所の観音像も安置し有名霊場となったとある。

そして現在もその観音信仰が伝承されている。地区民は毎年八月十日に観音祭、三月十五日に涅槃会を行っている。特に涅槃会は四色の団子を観音様にお供えし、無病息災の御利益を祈願し、そのお下りの団子は観音堂で参詣者に時いたり、地区民に配ったりしている。(松本盛博・記)



一本田観音院の千手観世音菩薩像 ▶
像高57.4cm、光背高67.7cm、台座高31.7cm
寄木造で厚い漆箔の上に金箔を貼っている。



涅槃団子 ▶

私たちの地区は私たちが守る！ 高知地区の防災計画を一緒に 作りませんか

5月から始まる「高知地区防災計画策定ワークショップ」のメンバーを募集します。まち協や区長会と一緒に地区の防災計画を作りませんか？

高知地区にお住まいの方(小学校高学年以上)ならどなたでも参加できます。1月に起こった「令和6年能登半島地震」は、決して他人事ではありません。みんなで高知の防災について考え、災害に強いまちをつくりましょう。

募集期間 4月30日まで
小学校高学年以上ならどなたでも参加できます。

開催時期 第1回目 5月17日(金) 19:30~21:00
5月から12月まで全8回

会場 高知コミュニティセンター

申し込み先 高知コミュニティセンター
(TEL 68-0843)

防災力UP! ニ講座 第12回

能登半島地震に寄せて

自然災害のリスク増大が指摘されている今、事前の情報から判断できる避難行動と突然来る地震は大きく避難の仕方が変わってきます。一時避難の遅れ、災害から身を守る条件として、「正しい情報の把握から甘く見ない」「災害の特性を正しく学ぶ」「地域や職場とつながる」ことが大切です。今回は、能登半島地震災害に特化してお話したいと思います。

自然災害の甚大化や複雑な構造、行政サービス低下など、自然災害の対応が目立って遅れている今、地域住民自身が中心となって対応せざるを得ない状況に追い込まれています。

今回の能登半島での地震は震度7でした。過去の地震災害で、近隣の新潟県は海・平地・山間部と三度の被害を被っていますが、にも関わらず行政はほとんど手を打ってこなかったのではないのでしょうか。前回はライフラインの被害が少なかつたことで、災害意識も薄く行政の対策遅れもあり、今回の被害拡大につながってしまったのではと思います。

さて、避難生活4つのポイントは「T(トイレ)、K(キッチン・食事)、B(ベッド)、W(暖かき)」です。今回の地震では、ライフラインの確保が遅れ、住民の避難とボランティアの行動が著しく制約されていることを考慮しても、避難計画が被災者の身になって考えられていないことや、防災用品の在り方などが現実的でなかったということが明らかになったのではと思います。避難所の運営についても女性目線の対応と準備ができていないようです。

とりあえず身を守るということを中心に置き、生き延びるために必要な水の確保が第一と考えられます。避難所に持ち込める備品は限定され、着のみ着のままの状態を命を守るということが前提で、映像を見る限り、普段の声掛けや、「きつなづくり」の大切さが、災害時には一番生きていく行動につながるのではないのでしょうか。

(防災士 吉田 幸恵)

自治会・町内会による災害への備え



編集後記

元旦の地震から始まった本年。能登では未だ避難所暮らしの方が多数おられること、一刻も早く日常の暮らしに戻ることができるよう願ってやみません。

周りでは今回の地震を機に防災グッズの準備や備蓄を始めたという人も多く、私もリュックにいろいろ詰め込み、職場で被災する場合も考えて通勤に使う車に積んでいます。

さて、現在五十代の私ですが、思い起こしてみると三十代の頃、東京駅で新幹線に乗り遅れそうになって走ったのが最後の全力疾走。津波警報が出ても高齢者を助けるどころか自分自身の避難もおぼつかないかも。

運動不足の身体を鍛えるのが私における最大の災害対策なのですが、ちよっと腹筋したら腰痛、スクワットしたら筋肉痛。ウォーキングから始めたい。(K)